

1 2月12日、本使は、平成23年度草の根・人間の安全保障無償「グアテマラ自治消防団3分署中古消防車整備計画」（供与限度額：82,217米ドル）にかかる引渡し式に出席したところ、概要以下の通り。（先方：セサル・アウグスト・ゴンザレス・アロヨ代表、マルコ・アントニオ・ラモス・ガルベス副代表、その他グアテマラ自治消防団の方々約50名。我が方：本使、太田草の根外部委嘱員同行）。

1. 冒頭、ウィリアム・ベルナルド・デ・レオン・ラミレス消防団員より、本件の申請から引渡し式に至るまでの顛末及び供与額の説明、並びに日本大使館等、各関係者に対する謝意が表明された。

2. 引き続き、セサル・アウグスト・ゴンザレス・アロヨ代表より次のとおり挨拶を行った。

（1）この引渡し式を迎えられたことを大使や大使館の方々に深く感謝する。

（2）日本政府から頂いた3台の水槽付きポンプ車は、シビリア市、サン・クリストバル・クチョ市、ナウラ市に供与される。24時間体制の消防団活動の環境改善に大いに役立つことでしょう。

（3）グアテマラ自治消防団では、この援助を有効活用すべく火災等非常事態への緊急対応力強化に努める。改めて大使、日本国民に対して感謝の意を表明する。またこの援助に関わった全ての方々に改めて感謝を表明する。

3. 次に、本使より概要以下のとおり挨拶があった。

（1）本日もご出席の皆様と一緒に、無償資金援助によるグアテマラ自治消防団3分署中古消防車整備計画の引渡し式と一緒に迎えることができ欣快。今回の援助はわが国の草の根・人間の安全保障無償資金協力によるものである。

（2）今回日本外交協会を通して、日本の自治体で不要となった中古の水槽付きポンプ車が寄贈された。これら車両が、多くのグアテマラの人々の生命を守るため貢献し、日本・グアテマラ両国のますますの友好に役立つことを期待する。

（3）今後、わが国の援助を最大限に有効活用していただき、維持管理にも十分に努めて頂きたい。

4. 各関係者との挨拶終了後、本式典は滞りなく終了した。

5. 当日はテレビ局（グア・テレビジョン、ノティ・シエテ）、全国紙（ディアリオ・デ・セントロ・アメリカ紙）が本式典の取材に訪れた。

（了）



两国国家齐唱



祝辞を述べる長崎大使



長崎大使とセサル・アウグスト・ゴンザレス・アロヨ代表



供与された車両に乗車する長崎大使



各メディアからのインタビュー取材